伊達市立伊達小学校

校長　吉　川　修　一

児童数　　５００名

学級数　２２（５）学級

職員数　　５２名

―　成果や結果に責任を果たし、地域の誇りとなる学校づくりの推進　―

「心身ともに健康で、北方に逞しく生き抜く子」の育成を目指し、「学び続ける学校」、「学び続ける教師集団」の実現に努めている。

特に、令和２年度に「オンライン学習導入モデル促進事業」の指定校として検証した実践を踏まえ、令和３年度はＧＩＧＡスクール推進チームを核とした対面指導とオンライン教育とのハイブリッド化による指導実践を積み重ねるなど、ＩＣＴ端末の日常的な活用による授業改善に大きな成果を上げている。

― ＧＩＧＡスクール推進チームの取組～一人の百歩より、全員の一歩を～ ―

組織的かつ戦略的にＧＩＧＡスクールを推進するため、ＧＩＧＡスクール推進チームを設置し、端末(Chromebook)を活用した授業づくりやオンライン授業などについて、実践上の課題や成果の情報共有に努めている。

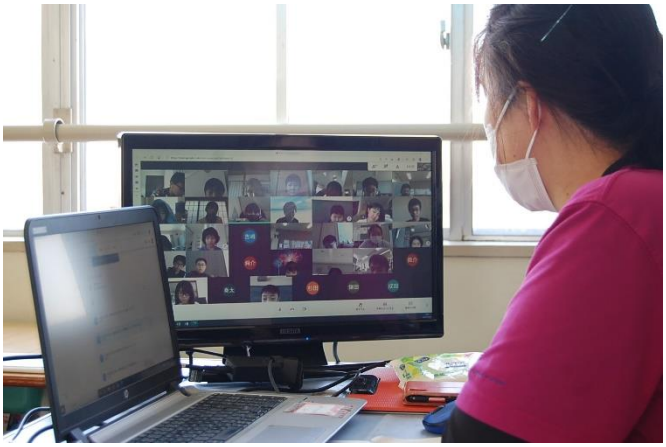
特に、意図的に若手教員及び転入教員を登用し、推進チームリーダーを、20代の教員が務めることにより、学年間の交流が活発になるとともにスピード感をもって指導に還元でき、組織的な人材育成に成果を上げている。

― 「Chromebook」を活用した授業改善～「確かな学力の保障」と「学びの保障」の観点から～ ―

教育クラウドプラットフォームサービスやChromebookで使用できるコンテンツを活用し、児童の学力向上につながるＩＣＴ端末の効果的な活用について実践を積み上げ授業改善に努めている。

特に、朝学習での個別最適な学びの実現や、授業において画像を共有し感想を述べ合う協働的な学び、児童が自宅で受講するオンライン授業実践など、確かな学力の保障と緊急時の学びの保障において成果を上げている。

― オンライン授業に関する学校評価から ―



新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校の際、迅速にオンライン授業が行われ、ＩＣＴ端末を使う授業が、子どもの学習に対する意欲の継続につながっています。

また、オンライン授業により、子どもは、端末の画面越しに友人の顔が見ることができ、ストレスが軽減され、落ち着いて過ごすことができたり、生活リズムの安定につながったりしており、心強く感じます。

（保護者の声）